



アからヒトまで共通の科学用語で話ができる唯一の分野と言っても過言ではないでしょう。環境問題にせよ、人口問題にせよ21世紀の人類の課題を考えると、時間生物学は1つの研究モデルになります。これまでは、理学系、医学系、農学系などが時間生物学の主流でしたが、これからはさらに数学系、工学系、社会学系などが加わり、総合科学として発展することが期待されます。

最後になりましたが、学会運営には事務局長を始め理事の方々のご協力を得て、会員の皆様の要望をできるだけ吸収していきたいと思えます。

平成17年1月 記